

### 事務事業評価シート(平成24年度実績分)

#### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
55321	美術館運営事業	教育委員会	美術館係	百瀬 辰夫	赤羽義洋
		一次評価年月日	平成 25 年 2 月 1 日	連絡先〔内線〕	43-0753
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1065	美術館管理運営事業	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1066	美術館特別展事業		
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	5節	地域文化の保護と育成
		項〔基本施策〕	(コード選択)	3項	文化芸術活動の振興
		目〔主な施策〕	(コード選択)	2目	文化芸術活動の促進
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input checked="" type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他		
事務期間	(開始) 53 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

#### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町内外の住民全般

②目的(意図)(～という状態にするために).....この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

人々が身近に美術と出会い、親しむとともに、感性を磨き、ネットワークを広げ、新たな生きる力を見出す。

③手段(事業内容)(～を行う).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 収蔵品や地域の文化資源を活用した展示や制作機会を提供する。
- 2 住民が参加・参画した活動や、館と連携した事業を推進する。
- 3
- 4

#### (3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	収蔵品や地域の文化資源を活用した展示や制作機会の提供		22	17	20	0.85	20
	説明	展示やワークショップの開催数		目標値設定の根拠		身近な芸術体験の普及度(22、23年度平均値)		
②	指標名	住民が参加・参画し、館と連携した事業の推進		7	12	15	0.80	15
	説明	展示やワークショップの開催数		目標値設定の根拠		参加・参画、連携数のアップ		

#### (4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	来場者、参加者の満足度		77	82	85	0.96	85
	説明	アンケートによる来場者、参加者の満足度調査		目標値設定の根拠		来場者、参加者の満足度の向上		
②	指標名	住民参画度		80	77	85	0.91	85
	説明	住民が参加・参画した活動や事業数		目標値設定の根拠		活動数増加による参画アップ		

#### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

項目	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度														
		決算	決算	決算	見込み														
○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)		25,123	32,714	20,359	49,547														
対前年比 (%)			130.2	62.2	243.4														
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		5,248	2,595	1,465	3,838														
B) 一般財源(税金)		19,875	30,119	18,894	45,709														
①事業費 (千円)		14,510	23,369	10,515	39,283														
対前年比 (%)			161.1	45	373.6														
②人件費の概算 (千円)		10,613	9,345	9,844	10,264														
対前年比 (%)			88.1	105.3	104.3														
	課長	課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費		
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25				
町職員(正規職員)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	8,418	8,149	7,960	8,039
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)												2,195	1,196	1,884	2,225			

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度) 27

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)	
住民からの出品による展示会や住民参加のワークショップ、住民団体との連携による事業などを開催し、身近な美術館に向けた参画性、連携性、協働性の向上と、満足度のアップを図った。年間コスト削減のための冬期休館中も、短期の展示会やイベントを実施し、住民の満足度向上に努めた。	

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	25年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
地域の親しまれる美術館をめざして、さらに住民の参加・参画度や連携性・協働性、満足度向上を図るために、展示や普及啓発事業を推進する。	〔反映内容〕 特別展、特集展示、ワークショップの開催 ギャラリーの利用促進

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
来館者数と来館者の満足度の向上に向けて更に工夫を重ねる。新年度においては、耐震補強工事とともに利便性改善のためにエレベーター設置工事を行う。また、開館35周年記念事業として特別展の開催、図録の作成を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 **口**を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持    
  イ. 見直しのうえで継続する    
  ウ. 終期設定    
  エ. 廃止    
  オ. 休止

→  上記 a~e を選択